注3

大学番号:私087

[平成29年度設置]

計画の区分: 研究科の設置

注1

認可

聖路加国際大学大学院 公衆衛生学研究科 注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人聖路加国際大学 平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 大学事務部

職名・氏名 アシスタントマネジャー・佐藤 英明

電話番号 03-5550-2247

(夜間) 03-5550-2247

F A X 03-5565-1626

e —mail satohide@luke.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学新設の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

• 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出 について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

公衆衛生学研究科

< 2	公 衆衛生学専攻>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 6
4.	AC対象学部等を含む大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 10
5.	教員組織の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 11
6.	留意事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 18
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人聖路加国際大学

- (2) 大 学 名 聖路加国際大学大学院
- (3) 大学の位置

〒104-0045 東京都中央区築地3丁目6番

(大学本部の位置 〒104-0044 東京都中央区明石町10番1号)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(イトイガワ ジュン) 糸魚川 順 (平成28年4月1日)	該当なし	
学長	^(フクイ ック゚ャ) 福井 次矢 ^(平成28年4月1日)	該当なし	
学 部 長	(エンドウ ヒロヨシ) 遠藤 弘良 (平成29年4月1日)	該当なし	
学科長等	該当なし	該当なし	

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29) 平成30年度に報告する内容 → (30)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ 様式は、平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(<u>修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合</u> には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等	学位又は学科の		備考		
の名称(学位)	分野	修業年限	入学定員	収容定員	1
公衆衛生学研究科 公衆衛生学専攻 (専門職学位課程) 公衆衛生学修士 (専門職)	保健衛生学関係 (看護学関係及 びリハビリテー ション関係を除 く。)	2	25	50	基礎となる学部等 該当なし

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

	報告年度	平成29年度	平成30年度	平均入学定員	備考
区	分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	פיי וווע
А	入学定員	人 人 25 (-) [-]	人 人 25 (-) [-]		
	志願者数	41 0 (41)(-) [6][-]	35 - (35) (-) [8] [-]		
	受験者数	41 0 (41)(-) [6][-]	35 – (35) (-) [8] [-]	1. 20倍	
	合格者数	36 0 (36) (-) [6] [-]	30 - (30) (-) [6] [-]		
ı	3 入学者数	35 0 (35)(-) [5][-)	25 – (25) (-) [3] [-]		
7	学定員超過率 B/A	1. 40	1. 00		

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、社会人の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「一」を記入して ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度	平成29年度	平成30年	t (重数)
学 年	春季入学 その他の学	春季入学 その他	
	35 0	25 -	
1 年次	[5][-]	[3] [-]
	(-) (-)	(-) (-)
		24 -	
2 年次		[1] [-	平成29年度1年次在籍の学生のうち、9名は1年コース在籍のた め、平成30年3月31日で修了している。(ほか退学者2名)
		(-) (-)
	35	49	
計	[5]	[4	
	(-)	(-	

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、<u>留年者の状況について、内数で</u>記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	+*** **/\	72		内訳		ナが旧典四点
対象年度	仕字有数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	主な退学理由
平成29年度	35 人	2 人	平成29年度	2 人	0 人	海外の同分野の大学院への進学(1名)、家庭の事情(1名)
平成30年度	49 人		平成29年度	0 人	0 人	
十成30年度	49 🔨	0 人	平成30年度	0人	0 人	
合 計	84 人	2 人				

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)</u>
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、<u>退学者数の内数</u>を記入してください。
 - ・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b)	_ =	 <u>2</u> 35	=	5.71	%
【平成30年度】					
平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	_ =	 <u>0</u> 49	=	0	%

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<公衆衛生学研究科 公衆衛生学専攻>

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

		配	į	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	11/ low - A										
	疫学概論	1前	3			1		1			
_	疫学実習	1後	•	2		2	1	2			1 2
疫学	臨床疫学 分子疫学	1後 2前	3	3		1	'	1			2
,	プ 丁 授 子 薬剤疫学・薬剤経済学	2 別 2 後		3		'		'			1
	慢性疾患疫学	2後 2後		3			1				1
	慢性疾思投子	21友		3		1	'	1			'
牛	生物統計学 I	1前	3			1		1			1
物	生物統計学実習 I	1前		2		1		1			1
統計	生物統計学Ⅱ	1後		3		1		1			1
学	生物統計学実習 Ⅱ	1後		2		1		1			1
公	医療政策管理学	1前	3			1					
衆	医療経済学	1前		3		1					1
衛生	健康•行動科学	1後	3			1					
応	環境科学	1後	3				1				
用科	医療人類学	1後		3		1					
目	健康情報・決断科学	2前		3			1				
,,,	生命・医療倫理学総	1前		3							1
学際	公衆衛生の倫理学	1後		3							1
健	国際保健学	2前		3		1					
康科	母子保健学	2前		3							1
学	国際感染症学	2前		3		1					
科	病院管理学	2後		3		1					
目	公衆衛生免疫学	2後		3		1					
	医学概論 I	1前			3						1
共通	医学概論 Ⅱ	1後			3						1
科	MPHセミナー	2後	3			3					
目	実践課題	2通	6			9					
	-	_									
								l			

【平成30年度】

		配	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	疫学概論	1前	3			1		1			
	疫学実習 臨床疫学	1後 1後	3	2		2 1	1	2 2			
疫学		1版 2前	3	3		1	'				'
1	ブ 1 及 丁 薬剤疫学・薬剤経済学	2後		3		ļ '					1
	慢性疾患疫学	2後		3		1	1	2			'
		21久		3		'	'	-			
生	生物統計学 I	1前	3			2		1			1
物統	生物統計学実習 I	1前		2		2		1			1
計	生物統計学Ⅱ	1後		3		2		1			1
学	生物統計学実習 Ⅱ	1後		2		2		1			1
公	医療政策管理学	1前	3			1					
衆衛	医療経済学	1前		3		1		1			1
生	健康・行動科学	1後	3			1					
応用	環境科学	1後	3				1				
科	医療人類学	1後		3		1					
目	健康情報・決断科学	2前		3			1				
学	生命・医療倫理学総			3							1
際	公衆衛生の倫理学	1後		3							1
健康	国際保健学	2前		3		1					
科	母子保健学	2前		3							1
学	国際感染症学	2後		3		1					
科目	病院管理学	2後		3		1					
	公衆衛生免疫学	2後		3		1					
	医学概念 1	1 86			2						1
共	医学概論 I	1前			3						
通	医学概論 Ⅱ	1後			3						'
科目	MPHセミナー	2後	3			3					
	実践課題	2通	6			9					
_		_			_					_	

【平成29年度】

	「灰とョー皮」	配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	•
		次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
疫学	疫学概論 疫学実習 臨床疫学 分子疫学 業剤疫学·薬剤経済学 慢性疾患疫学	1前後後 2前後 2後 2後	3	2 3 3 3		1 2 1 1	1 1	1 2 2 1			1
生物統計学	生物統計学 I 生物統計学実習 I 生物統計学 II 生物統計学実習 II	1前 1前 1後 1後	3	2 3 2		1 1 1		1 1 1			1 1 1
公衆衛生応用科目	医療政策管理学 医療経済学 健康·行動科学 環境科学 医療人類学 健康情報·決断科学	1前1後後後前	3 3 3	3 3 3		1 1 1	1	1			1
学際健康科学科目	生命・医療倫理学総 公衆衛生の倫理学 国際保健学 母子保健学 国際感染症学 病院管理学 公衆衛生免疫学	1前後2前2前2後 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21		3 3 3 3 3 3		1 1 1 1					1 1
共通科目	医学概論 I 医学概論 I MPHセミナー 実践課題	1前 1後 2後 2通	3		3	3					1

- (注)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。 その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字</u>としてください。 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

 - ・ <u>1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入</u>してください。 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

・専任教員(講師)の就任辞退により、後任補充として「疫学実習」の兼任教員を専任(講師)に変更したため、「兼任・兼担 1 」から「兼任・兼担 0 」に変更。

- ・教育体制の充実を図るため、「臨床疫学」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」 に変更。
- ・教育体制の充実を図るため、「慢性疾患疫学」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担
- ・教育体制の充実を図るため、「医療経済学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

【平成30年度】

- ・教育体制の充実を図るため、科目区分「生物統計学」の全4科目「生物統計学I」「生物統計学実習I」「生物統計学II」「生物統計学 II」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。 ・教育体制の充実を図るため、「健康・行動科学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。 ・教育体制の充実を図るため、「環境疫学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。

- 「国際感染症学」担当の専任教授が逝去したことにより、後任となる専任教授の時間割の調整のため、配当年次を「2前」から「2後」 に変更。
- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時の計画				変更			
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
8 科目	17 科目	2 科目		8 科目 [0]	17 科目 [0]	2 科目 27 [0] [(科目 0]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

- 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	27	_	0 50

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

	区		分		内						容	3			備考
(1)		区	分		専	用	共	用		ŧ用するſ ⋭校等の耳			計		
校		校 쇩	宇敷 地	<u>t</u>		7, 501 m	า้	10	n		0n	n [†]		7, 501 m ²	
12		運動	場用地	ļ		11, 505 n	า้	01	nî		0n	nî	1	1, 505 m²	
地		小	計	-		19, 006n	า้	01	ที่		0r	n	1	9, 006 m ²	
等		そ	の他	ļ		1, 396 n	า๋	ที	0 m²				1, 396 m²		
		合	計	-		20, 402 n	า้	01					2	0, 402 m ²	
					専	用	共		ŧ用するſ ⋭校等の₽			計			
(2) 校	ξ		舎		22.	082m²		0m²		0m²			22, 082 m	ٱ	
					(22, 082㎡) 演習			(0m²)		(0m²)			(22, 082m	า์)	
				講	義室	演	習室	実験実	習室	情報処	理学習加	施設	語学学習	施設	
(3) 教	Į	室	等		1:	9室	33室		10室	/ } ± □	ᅡᄥᆕᇬᆝ	3室、	(補助職員		大学全体
						並 記 一	部等の名称	A #			室 数			[0人)	
(4) 専	任教	女員研究	室				^{前寺の石林} 生学研究科	-			<u>≇</u> 21		女 人		
				3	図 書		析雑誌							室	
(5)	新設学部等			ち外国書〕		外国書〕	電子ジャ	 ーナル	視聴覚	資料	機械・器	具 標	本	大学全体	
		の名和	小			m l	種 〔うち外国:				点				・図書・学術雑誌:医 学図書館の保有冊数を
図					66 [12, 08 40 [12, 17		(11, 087) 605 (795)	8, 981	[7, 230]		1, 741 1, 723	:	223	102 62	合算し、さらに図書の 整理を行ったため。
•	公衆	常生学	·研究科	(78.	966 [12, 081 640 [12, 173	(21, 72	9 (11, 087))	1,087]) (0,001 (7,22		(1,	741) 723)	1) (223)		(102) -(62)	(30) • 視聴覚資料:新規購
設 備		=1			66 [12, 08 40 [12, 17		[11, 087] 605 [795]	8, 981	[7, 230]		1, 741 1, 723		223	102 62	入を行ったため (30) ・標本:計算方法を変 エ・・・ は (20)
		計			966 [12, 081 640 [12, 173		9 [11, 087]) , 605 [795])	(8, 981 [7,	230))	(1, - (1, -	741) 723)	(22	3)	(102) -(62) -	更したため(30)
(6) 図	1	書	館		面	積		閲覧座	席数		収	納可	能 冊	数	
(0)	J		Δ0			7	72 m ²			90			5	1,694冊	
(7) 体	<u>.</u>	育	館		面	積		1	本育館以	外のスポ	一ツ施言	サロボ要			
		-		0 m²				該当な	il						
		経費	区 分 開設年度		完成年月		分	開設前		開設年度					
(8) 経費 <i>の</i>	ᆁ	積り		_	講入費		0千円 8			750千円					
種質の積	えび				克 費 等	-千円	<u> </u>	一千円 設備購力		0千円				000千円	
の概	要	学生 1	J		1年次	第2年次		3年次	第4年		第5年次				
	-	納付			1,900千円	1,500		一千円	'# * F T	一千円	4.1m 7 64	一千円		一千円	
		学生	納付金	付金以外の維持方法の概要 私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等											

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	聖路	聖路加国際大学												
既設学部等の名称	修業 年限	入章	学 編入学	収 容定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地						
	年	,	人 年次 人			倍								
公衆衛生学研究科 公衆衛生学専攻 (専門職学位課程)	2	:	25 –	50	公衆衛生学修 士 (専門職)	1. 20	平成29年度	東京都中央区籍地3丁目6番						
看護学部 看護学科	4	10	3年次 30	430	学士 (看護 学)	1. 04	昭和39年度	東京都中央区明石町10番1号	平成29年度入学定員增 (25人) 平成29年度2年次編入学 (△20人) 平成29年度3年次編入学 (30人)					
看護学研究科 看護学専攻 (博士前期課程)	2	;	32 –	64	修士 (看護 学)	1. 12	昭和55年度	同上						
ウィメンズヘルス・助産 学専攻 (博士前期課程)	2		- 8	36	修士 (看護 学)	1. 02	平成17年度	同上						
看護学専攻 (博士後期課程)	3	:	20 –	60	博士 (看護 学)	0. 95	昭和63年度	同上						

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>A C 対象学部等含む</u>)について、それぞれの学校種ごとに、 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<公衆衛生学研究科 公衆衛生学専攻(専門職学位課程)>

(1) 一① 担当教員表 【認可時又は届出時】

	_	担当教員表			to the S		• • •	~ ~ .
専任・	引時又	は届出時】 氏 名	専任・	式29	年度】 氏名	専任・	30	年度】 氏名
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 句 (年 齢) <就任(予定)年月 >	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 4 (年 齢) <就任(予定)年月 >	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		Mahbubur Rahman (51)			Mahbubur Rahman (51)			Mahbubur Rahman (52)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
専	教授	疫学概論 疫学実習 実践課題	専	教授	疫学概論 疫学実習 実践課題	専	教授	疫学概論 疫学実習 実践課題
		浦山 Kevin Yuji			浦山 Kevin Yuji	-		浦山 Kevin Yuji
		(39) <平成29年4月>			(39) <平成29年4月>			(40) <平成29年4月>
専	教授	分子疫学 MPHセミナー 実践課題	専	教授	分子疫学 MPHセミナー 実践課題	専	教授	分子疫学 MPHセミナー 実践課題
		Mahbub Latif (46)			Mahbub Latif (46)			Mahbub Latif (47)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
専	教授	生物統計学 I 生物統計学実習 I 生物統計学 II 生物統計学実習 II 実践課題	専	教授	生物統計学 I 生物統計学実習 I 生物統計学 II 生物統計学実習 II 実践課題	専	教授	生物統計学 I 生物統計学実習 I 生物統計学 II 生物統計学実習 II 実践課題
		池上 直己 (67)			池上 直己 (67)			池上 直己 (68)
1		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
専	教授	医療政策管理学 医療経済学 病院管理学 実践課題	専	教授	医療政策管理学 医療経済学 病院管理学 実践課題	専	教授	医療政策管理学 医療経済学 病院管理学 実践課題
		高橋 理 (51)			高橋 理 (51)			高橋 理 (52)
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
専	教授	疫学実習 臨床疫学 慢性疾患疫学 MPHセミナー 実践課題	専	教授	疫学実習 臨床疫学 慢性疾患疫学 MPHセミナー 実践課題	専	教授	疫学実習 臨床疫学 慢性疾患疫学 MPHセミナー 実践課題
		Gautam Deshpande (42)			Gautam Deshpande (42)			Gautam Deshpande (43)
専	教授	〈平成29年4月〉 健康・行動科学 医療人類学 MPHセミナー 実践課題	専	教授	〈平成29年4月〉 健康・行動科学 医療人類学 MPHセミナー 実践課題	専	教授	〈平成29年4月〉 健康・行動科学 医療人類学 MPHセミナー 実践課題
		平家 勇司			平家 勇司			平家勇司
専	教授	(56) <平成29年4月> 健康・行動科学 医療人類学 MPHセミナー 実践課題	専	教授	(56) <平成29年4月> 健康・行動学 医療人類学 MHセミナー 実践課題	専	教授	(57) <平成29年4月> 健康・行動科学 医療人類学 MPHセミナー 実践課題
		竹内 勤			竹内 勤			
		(71) <平成29年4月>			(71) <平成29年4月>			
専	教授	国際感染症学 実践課題	専	教授	国際感染症学 実践課題			
		遠藤 弘良 (61)			遠藤 弘良 (61)			遠藤 弘良 (62)
専	教授	<平成29年4月>	専	教授	<平成29年4月>	専	教授	<平成29年4月>
	教授	国際保健学 実践課題	₩ ₩	教授	国際保健学 実践課題		教授	国際保健学 実践課題 国際感染症学
								GILMOUR Stuart John (44) <平成30年4月>
						*	教授	生物統計学 I 生物統計学実習 I 生物統計学 I 生物統計学支習 I 実践課題
		大出(平井) 幸子 (38)			大出(平井) 幸子 (38)			大出(平井) 幸子 (39)
専	准教 授	<平成29年4月> 疫学実習 臨床疫学 慢性疾患疫学	専	准教 授	<平成29年4月> 疫学実習 臨床疫学 慢性疾患疫学	専	准教 授	<平成29年4月> 疫学実習 臨床疫学 慢性疾患疫学
-		WONG. Shui-Yee			WONG. Shui-Yee			WONG. Shui-Yee
		(36) 〈平成29年4月〉			(36) <平成29年4月>			(37)
専	准教 授	健康情報・決断科学	専	准教 授	健康情報・決断科学	専	准教 授	健康情報・決断科学
				1				

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 >
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		Mihye Lee			Mihye Lee			Mihye Lee
		(38) <平成29年4月>			(38) <平成29年4月>			(39) <平成29年4月>
専	准教 授		専	准教 授		専	准教 授	
		環境科学			環境科学			環境科学
						-		大西 一成
								(40) 〈平成30年9月〉
							准教 授	
								環境科学
		林 邦好			林 邦好			林 邦好
		(35) <平成29年4月>			(35) <平成29年4月>			(36) <平成29年4月>
専	講師	生物統計学 I 生物統計学実習 I	専	講師	生物統計学 I 生物統計学実習 I	専	講師	生物統計学 I 生物統計学実習 I
		生物統計学Ⅱ 生物統計学実習Ⅱ			生物統計学Ⅱ 生物統計学実習Ⅱ			生物統計学Ⅱ 生物統計学実習Ⅱ
		星野 絵里			星野 絵里	-		星野 絵里
		(38) <平成29年4月>			(38) <平成29年4月>			(39) <平成29年4月>
専	講師	疫学実習	専	講師	疫学実習	専	講師	疫学実習
		臨床疫学 慢性疾患疫学			臨床疫学 慢性疾患疫学			臨床疫学 慢性疾患疫学
		副島 久美子			医療経済学	-		医療経済学
		(38) <平成29年4月>						
専	講師	マール20年4万ク						
		疫学概論 疫学実習						
		周尾 卓也				-		
		(40) <平成29年4月>						
専	講師	X 1 792 V 1 7 7 7						
		分子疫学						
						-		佐藤 隆華
								(39)
							講師	V1700-7-0772
								健康・行動科学
		麻原 きよみ			麻原 きよみ	-		麻原_きよみ
		(58) <平成29年4月>			(58) <平成29年4月>			(59) <平成29年4月>
兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	
		母子保健学			母子保健学			母子保健学
		松井陽			松井陽			松井陽
		(68) <平成29年4月>			(68) <平成29年4月>			(69) <平成29年4月>
兼担	教授		兼担	教授		兼担	教授	
		医学概論Ⅱ			医学概論 II			医学概論 Ⅱ
		鶴若 麻理			鶴若 麻理			鶴若麻理
	₩ #	(42) <平成29年4月>		##-	(42) <平成29年4月>		₩ #-	(43) <平成29年4月>
兼担	准教 授	生命・医療倫理学総論	兼担	准教 授	生命・医療倫理学総論	兼担	准教 授	生命・医療倫理学総論
		公衆衛生の倫理学			公衆衛生の倫理学			公衆衛生の倫理学
		小林 大輝 (36)			小林 大輝 (36)			小林 大輝 (37)
		(36) <平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
兼任	講師	疫学実習		講師	疫学実習 臨床疫学		講師	疫学実習 臨床疫学
		臨床疫学 慢性疾患疫学			慢性疾患疫学 疫学概論			慢性疾患疫学 疫学概論
		鈴木 高祐			鈴木 髙祐			鈴木 髙祐
		(68) <平成29年4月>			(68) <平成29年4月>			(69) <平成29年4月>
兼任	講師	r= *** *** -	兼任	講師	CE M4 100 3A -	兼任	講師	r=
		医学概論 I			医学概論 I			医学概論 I
		野島正寛			野島。正寛			野島正寛
		(40) <平成29年4月>			(40) <平成29年4月>			(41) <平成29年4月>
兼任	講師	生物統計学 I 生物統計学実習 I	兼任	講師	生物統計学 I 生物統計学実習 I	兼任	講師	生物統計学 I 生物統計学実習 I
		生物統計学Ⅱ			生物統計学Ⅱ			生物統計学Ⅱ
L		生物統計学実習 Ⅱ 臨床疫学			生物統計学実習 Ⅱ 臨床疫学			生物統計学実習 Ⅱ 臨床疫学
		五十嵐 中 (37)			五十嵐 中 (37)			五十嵐 中 (38)
兼戸	講師	<平成29年4月>	兼任	講師	<平成29年4月>	兼け	講師	<平成29年4月>
兼任	品印	医療経済学		再即	医療経済学	兼任	再即	医療経済学
		薬剤疫学・薬剤経済学			薬剤疫学・薬剤経済学			薬剤疫学・薬剤経済学
							_	-

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別		氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月 > 担当授業科目名
					兼	壬 講師	安岡 潤子 (48) 〈平成30年4月〉 国際保健学
					*1	壬 講師	杉本 昌弘 (42) 《平成30年6月》 分子疫学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太宇の赤宇としてください。**・ 年齢は、 <u>それぞれの年度の5月1日時点の満年齢</u>を記入してください。
 ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- □副島久美子講師就任辞退。後任として、非常勤講師で就任予定であった小林大輝が専任講師として就任。平成28年12月教員審査済。
 「医療経済学」の教育体制の充実を図るため、星野絵里講師の科目追加。平成28年12月教員審査済。
 ・ | 周尾卓也講師就任辞退。後任として、多田耕平講師を新規採用予定。平成29年3月教員審査提出、審査中。

【平成30年度】

- 【平成30年4月6]LMOUR Stuart John教授就任。平成29年12月教員審査済。 ・平成30年4月、安岡潤子非常勤講師就任。 ・平成29年度、就任辞退した周尾卓也講師の後任として就任予定であった多田耕平講師が、平成29年3月の教員審査で不可となった。兼任補充として、杉本昌弘非常勤講師が平成30年6月1日に続任する。 ・竹内勤教授逝去のため、遠藤教授に変更予定。平成30年6月に科目追加のため教員審査予定。 ・平成30年6月、佐藤聡美講師就任予定。平成30年3月教員審査提出、審査中。 ・平成30年9月、大西一成准教授就任予定。平成30年3月教員審査提出、審査中。

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ <mark>愛可で設置された学部等の事任教員を変更する場合</mark>は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略
 - となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

(2) 0 12	ラン・アート	±10,700
完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
9	6	6
名	名	名

(注)・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件 (平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号) により 算出される教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員数

		設置	時(の計画	画		現在(報告書提出時)の状況						現在(報告書提出時)の完成年度時の計画					計画			
教 授	· /	養	講館	币 助	教	計 (A)	教 授	准教授	講	師	助教	計 (B)	教	授	准	教授	講	師	助	教	計 (C)
9		3	4	-	0	16	9	4	4		0	17		9		4	4		()	17
(9)	 	(3)	(4)	()	0)	(16)]	0]	[1]	[0]	[0]	[1]
研究者	教員	実務家	家教員	講義のみ の教員	担当 数		研究指導教 数	実務	家教員	講義	義のみ担当)教員数		研究	指導教 数	員	実務家	家教員	講(養のみ の教員	担当 数	
9			7	0			10		7		0			10			7		0		
(9))	(7)	(0)			10		•		ŭ		[1]	[(0]	[0]	$V \mid$

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「現在(報告書提出時)の状況」に配入した数字に、教員審査を受審済みであり、 完成年度までに就任する教員数を加えた数を配入</u>するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名滅の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

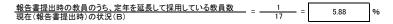
	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、 および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている 教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

 - し、「定年を延長している教員数」には合算した数を配入してください。 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。
 - (2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率



- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当于	予定科目	後任補充	状況	就任辞退(未就任)の理由								
-1	講師	副島 久美子	必修	疫气	学概論	1			本人都合(家庭事情)のため就任辞退(29)							
	講師 町局 久美丁		選択	疫学実習		1		- 本人都台(家庭事情)のため就任許返(29)								
2	講師	周尾 卓也	選択	分子	子疫学	2			本人都	都合のた	≥め就	任辞退(29))			
		合計	(D)			後任補充状況の集計 (E)										
ā	忧任を辞	退した教員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	①の合計数 (a) ②の合計数 (b)					③の合計数 (c)				
			必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
			選択	2	科目	選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目		
	2 人		自由	0	科目	自由	自由 0 ≉		自由	0	科目	自由	0	科目		
			計	3	科目	計	2	科目	計	1	科目	計	0	科目		

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合,赤字にて記入するとともに, 「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員	氏名	必修・選択・自由の別 担当予定科目			後任補充	状況		辞任等の理由							
1	1 教授 竹内 勤		選択	国際感染症学		1			H30.3.20浙去のため辞任(30)								
			主力	必修	実践	 表課題	1		1130. 3. 20题云07.287辞任(30)								
	合計 (F)								後任補充状況の集計(G)								
	辞任した教員数 担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)						①の合計数 (a)			②の合計	③の合計数 (c)						
		1 Д		必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目		
						選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	1			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目		
				計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	0	科目		

- 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D	後任補充状況の集計 (E) + (G)											
辞任等した教	員数	担当科目数の合	計 (a) +	(b) + (c)	+ (c) ①の合計数 (a)			②の合計)	③の合計数 (c)			
		必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	2	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
3	, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	4	科目	計	1	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(2) - ②設置時の計画(A) 18.75 %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	号 職 位 専任教員氏名 💩 🕸 ・選択・自由の別 担当予定科目					後任補充状況 辞任等の理由									
	該当なし														
	合計							後任補充状況の集計							
	舒	揺し	した教員数	担当科目数の合語	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計数 (a) ②の合計数 (b) ③の合計数 (c))			
				必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	0			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			, ,	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ \mathbf{c} 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の就任辞退に際しては速やかに後任の手配を行った。「分子疫学」については、専任講師の就任辞退による兼任補充として平成30年6 月1日に非常勤講師が就任予定であり、また、専任教授1名が開設時より担当していることから、教育体制に支障は生じていないと考える。 「国際感染症学」については、専任教授の科目追加を予定しているが、当該専任教授の担当科目(「国際保健学」)には新たに非常勤講師 を充当しており、教育の質の担保に努めている。担当教員の変更については、オリエンテーションや履修登録の際に学生に周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を 記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	等 ————	履行状況		未履行事項について の実施計画
設 で で で で 利)	1 等設すの研の実門しい的ら動り上と 記というにでは、教学論度特別のは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で		1月門学学務人実院FD育体委ののに研教成生一大て職同す毎(平記講り同る回そ准をたをれ教とのでは、名と、大学な教育のでは、名と、大学な教育のでは、名と、大学な教育のでは、名と、大学な教育のでは、公参行員衆加月の務現を議事をすまり、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	履行	該 当 し
	2. 1年コースの受け入れについて、「2年以上の実務いうとの実ををする医師に従事したまの者」は、一次の者は、は、一次の方には、一次の方には、一次の方には、一次の方にの方に、一次の方に、「2000円では、1000円では、「2000円では、10		2. 1年コースのというでは、1年コースのというでは、12年以上では、12年のでは、1		

	3.1年コースの質を担保するために、各科目や学位行所の見体の見体の表をあらからがあるがあるがあるがある。厳格に取り扱うこと。	3. 成績評価の具体は 、成績評価の具体は には には には には には には には には にい にい にい にい にい にい にい にい にい にい	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	該当なし		

- (注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を()書き</u>で付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、<u>当該大学に付された意見を全て記入</u>するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<公衆衛生学研究科 公衆衛生学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

	設	置	時	の	計	画	変	変更内容・状況,	今後の見通しなど
該当なし							該当なし		

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・大学としてFDSD委員会が設置されている(別添「聖路加国際大学FDSD委員会細則」参照)
- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・月に1回開催しており、公衆衛生学研究科の教員も2017年5月より委員会に参画している。
- c 委員会の審議事項等
 - ・学部・大学院の教育・研究活動及び大学組織運営推進のためのFD及びSDに関する事項全般
 - ・毎年8月に開催するFDSD研修のテーマに関する検討
 - ・その他のFDの開催テーマに関する検討

② 実施状況

- a 実施内容
 - ・ 授業方法についての研究会
 - 毎年8月、全教職員を対象にFDSD研修を実施
 - ・ その他個別のテーマに関するFD及びSDの実施
 - ・ 毎年10月頃、主に国外から講師を招いたシンポジウムを開催(公衆衛生学研究科の主催により実施)
 - ・ 看護学研究科と合同で、各教員の研究テーマ等の発表および意見交換会の実施
- b 実施方法
 - 各種研究会及び研修会等で実施予定
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・ 平成29年10月開催のシンポジウムについては、専任教員全員のほか兼任・兼担教員が参加した。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - あらゆる取り組みを看護学研究科と合同で実施することで、研究科間での教員の交流が活発になり、 授業を含めた学生への教育・指導も協働で行うことができている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

有(学期終了時)

b 教員や学生への公開状況,方法等 学内イントラネットにて公開

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「設置の趣旨等を記載した書類」の「④ 自己点検・評価」に記載のとおり事業計画及び重点目標を設定した。 設定した目標に対する進捗を年度途中の会議(「短中期経営戦略会議」)で確認し、年度末に評価を行った。 さらにその評価結果については次年度の事業計画及び重点目標に活用されており、PDCAサイクルが現状で 適切に機能していると考えている。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - 平成34年6月 公表予定
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定(平成34年6月を予定)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・評価機関(公益財団法人大学基準協会)による機関別評価を平成33年度に、公衆衛生系の分野別評価を 平成34年度に受けるべく学内で検討中
- (注) 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- (4) 情報公表に関する事項
- 〇 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表(予定)の有無 ((有 ・ 無
 - b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成31年2月)
- (注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
 - ・ 「b 公表(予定) 有の場合の公表(予定) 時期」には、「a ホームページに公表(予定) 有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。